

新旧対照表

○令和 6 年度業務実績評価書及び第三期中期目標期間業務実績評価書 参考資料 小項目評価（案）

新	旧	備考												
修正① P21 小項目 9 質の高い医療の提供 精神医療センター【地域の医療機関との連携】 <table><tr><th>2 ～ 6 年度</th><th>第三期期間評価特記事項</th></tr><tr><td><u>B</u></td><td>「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、<u>目標未達が続いたものの、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたことから、総合的に判断し、B 評価とした。</u></td></tr></table>	2 ～ 6 年度	第三期期間評価特記事項	<u>B</u>	「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、 <u>目標未達が続いたものの、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたことから、総合的に判断し、B 評価とした。</u>	P21 小項目 9 質の高い医療の提供 精神医療センター【地域の医療機関との連携】 <table><tr><th>2 ～ 6 年度</th><th>第三期期間評価特記事項</th></tr><tr><td><u>C</u></td><td>「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、<u>期間を通して目標未達が続き、状況に改善が見られなかった。</u> <u>一方で、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたため、第三期中期目標期間における「訪問看護件数」は、目標値を大幅に上回る状況が続いた。</u> <u>これらのことから、総合的に判断し、C 評価とした。</u></td></tr></table>	2 ～ 6 年度	第三期期間評価特記事項	<u>C</u>	「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、 <u>期間を通して目標未達が続き、状況に改善が見られなかった。</u> <u>一方で、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたため、第三期中期目標期間における「訪問看護件数」は、目標値を大幅に上回る状況が続いた。</u> <u>これらのことから、総合的に判断し、C 評価とした。</u>	第 1 回評価委員会で委員から頂戴した意見を受け、小項目 9 の期間評価を C 評価から B 評価へ変更しました。また、それに合わせて特記事項の記載を修正しました。				
2 ～ 6 年度	第三期期間評価特記事項													
<u>B</u>	「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、 <u>目標未達が続いたものの、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたことから、総合的に判断し、B 評価とした。</u>													
2 ～ 6 年度	第三期期間評価特記事項													
<u>C</u>	「退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合」については、 <u>期間を通して目標未達が続き、状況に改善が見られなかった。</u> <u>一方で、地域の医療機関や福祉施設との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組を積極的に進めたため、第三期中期目標期間における「訪問看護件数」は、目標値を大幅に上回る状況が続いた。</u> <u>これらのことから、総合的に判断し、C 評価とした。</u>													
修正② P37 小項目 18 人材の確保と育成 【医療技術職員・事務職員】 <table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>令和 6 年度実績評価特記事項</th></tr><tr><td><u>A</u></td><td>医療技術職、薬剤師等は、<u>人材確保が困難な中、昨年度と同水準で充足したことから、A 評価とした。</u></td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	令和 6 年度実績評価特記事項	<u>A</u>	医療技術職、薬剤師等は、 <u>人材確保が困難な中、昨年度と同水準で充足したことから、A 評価とした。</u>	P37 小項目 18 人材の確保と育成 【医療技術職員・事務職員】 <table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>令和 6 年度実績評価特記事項</th></tr><tr><td><u>B</u></td><td>医療技術職、薬剤師は昨年度と同水準で充足したものの、<u>事務職員の充足状況については改善が必要であることから、B 評価とした。</u></td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	令和 6 年度実績評価特記事項	<u>B</u>	医療技術職、薬剤師は昨年度と同水準で充足したものの、 <u>事務職員の充足状況については改善が必要であることから、B 評価とした。</u>	第 1 回評価委員会で委員から頂戴した意見を受け、小項目 18 の令和 6 年度評価を B 評価から A 評価へ変更しました。また、それに合わせて特記事項の記載を修正しました。
神奈川県評価														
評価点数	令和 6 年度実績評価特記事項													
<u>A</u>	医療技術職、薬剤師等は、 <u>人材確保が困難な中、昨年度と同水準で充足したことから、A 評価とした。</u>													
神奈川県評価														
評価点数	令和 6 年度実績評価特記事項													
<u>B</u>	医療技術職、薬剤師は昨年度と同水準で充足したものの、 <u>事務職員の充足状況については改善が必要であることから、B 評価とした。</u>													

新	旧	備考																				
修正③ P51 小項目24 臨床研究の推進	P51 小項目24 臨床研究の推進	第1回評価委員会で委員から頂戴した意見を受け、小項目24の令和6年度評価をC評価からB評価へ、期間評価をB評価からA評価へ変更しました。また、それに合わせて特記事項の記載を修正しました。																				
<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>令和6年度実績評価特記事項</th></tr><tr><td><u>B</u></td><td>昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 目標値において、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数については概ね目標値を達成し、治験受託件数については、全体件数で目標値を達成していることから、総合的に判断し、<u>B評価</u>とした。</td></tr><tr><th>2～6年度</th><th>第三期期間評価特記事項</th></tr><tr><td><u>A</u></td><td>「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったことから、総合的に判断し、<u>A評価</u>とした。</td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	令和6年度実績評価特記事項	<u>B</u>	昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 目標値において、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数については概ね目標値を達成し、治験受託件数については、全体件数で目標値を達成していることから、総合的に判断し、 <u>B評価</u> とした。	2～6年度	第三期期間評価特記事項	<u>A</u>	「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったことから、総合的に判断し、 <u>A評価</u> とした。	<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>令和6年度実績評価特記事項</th></tr><tr><td><u>C</u></td><td>昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 一方で、治験受託件数、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数のいずれについても、概ね目標値を達成してはいるものの、治験や英語論文件数で目標値を大きく下回った項目もあり、D評価も昨年度から一つ増加したことから、総合的に判断し、<u>C評価</u>とした。</td></tr><tr><th>2～6年度</th><th>第三期期間評価特記事項</th></tr><tr><td><u>B</u></td><td>「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったが、各病院別にみると、複数の病院において、目標値を大幅に下回る状況が続いたことから、総合的に判断し、<u>B評価</u>とした。</td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	令和6年度実績評価特記事項	<u>C</u>	昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 一方で、治験受託件数、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数のいずれについても、概ね目標値を達成してはいるものの、治験や英語論文件数で目標値を大きく下回った項目もあり、D評価も昨年度から一つ増加したことから、総合的に判断し、 <u>C評価</u> とした。	2～6年度	第三期期間評価特記事項	<u>B</u>	「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったが、各病院別にみると、複数の病院において、目標値を大幅に下回る状況が続いたことから、総合的に判断し、 <u>B評価</u> とした。	
神奈川県評価																						
評価点数	令和6年度実績評価特記事項																					
<u>B</u>	昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 目標値において、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数については概ね目標値を達成し、治験受託件数については、全体件数で目標値を達成していることから、総合的に判断し、 <u>B評価</u> とした。																					
2～6年度	第三期期間評価特記事項																					
<u>A</u>	「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったことから、総合的に判断し、 <u>A評価</u> とした。																					
神奈川県評価																						
評価点数	令和6年度実績評価特記事項																					
<u>C</u>	昨年度課題に挙げていた「研究倫理審査システム」の整備について、システムを導入し、各病院の研究倫理審査委員会における審査フローや申請様式等の統一に向けた調整を行うことにより、円滑なシステム運用の整備に努めたことが認められる。 一方で、治験受託件数、医師主導型を含む臨床試験件数及び英語論文件数のいずれについても、概ね目標値を達成してはいるものの、治験や英語論文件数で目標値を大きく下回った項目もあり、D評価も昨年度から一つ増加したことから、総合的に判断し、 <u>C評価</u> とした。																					
2～6年度	第三期期間評価特記事項																					
<u>B</u>	「治験受託件数」の全体数は、第三期中期目標の期間を通して、目標値を大幅に上回ったが、各病院別にみると、複数の病院において、目標値を大幅に下回る状況が続いたことから、総合的に判断し、 <u>B評価</u> とした。																					